

よっちゃん あのね

ぼくの 友だちの よっちゃんは すごいんだよ。だって、
テストは いつも 百点だし、つくえの 中も きれいだし、
ぼくと やくそくした ことはちゃんと守って くれるんだ。
そんな よっちゃんと この前 あそんだときの はなし。



よっちゃんは やくそくどおり 三時に

「おじゃまします。」

と 大きな 声で あいさつを して ぼくの お
家に やってきた。

ぼくと ぼくの弟と よっちゃんは ブロックで
車や ひ行きや 船を 作って あそんだんだ。
とっても 楽しかったよ。

ぼくの すんでいるところは 四時半に なったら
「夕やけこ小やけ」の 音楽が 町中に



ながれるんだ。

よっちゃんは その音楽がながれたら 家に 帰るように
よっちゃんの お母さんと やくそくして いたんだ。

なぜなら、四時半に ぼくの 家を 出たら

お母さんと やくそくした 五時から べん強が
できるからなんだって。

でもね、よっちゃんは ぼくたちと あそびに

む中に なって 気づいたら 時計は

四時半を すぎていたんだ。

だから、よっちゃんは びっくりして、

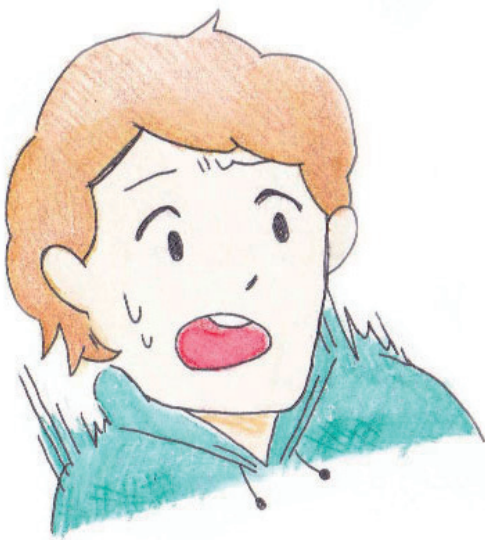
「ぼく お母さんとのやくそくが あるから

帰るね。おじやましました。」

といって いそいで げんかんを とび出して いった。

よっちゃんが 帰った後、

ブロックで ちらかったへやを ぼくと ぼくの弟は後
かたづけを したんだ。





後かたづけが おわって

時計を 見たら 五時だった。

(きつと よっちゃんはお母さんの

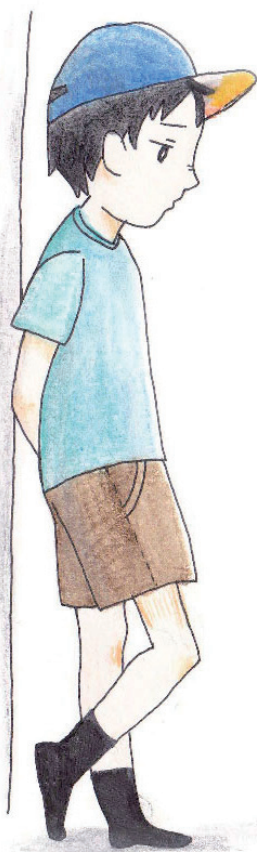
やくそくを まもれただろうな)

と おもったんだけどね。

あした よっちゃんに だいじな

はなしを しようと おもうんだ。

(幸阪 創平 作)



よっちゃん あのね

(低学年 4-(1))

(1) ねらい

約束やきまりを守ったり、みんなが使う物を大切にしたりする心情を育てる。

(2) 資料の特質

主人公「ぼく」が友達の「よっちゃん」の行動について考えた内容である。よっちゃんは、ぼくの家で遊んだ後、お母さんとの約束を守るためにおもちゃを片付けずに帰ってしまう。お母さんとの約束を守ろうとするよっちゃんの気持ちを受け止めながら、出した物を片付けることの大切さをぼくの気持ちを通して考えていきたい。

(3) 展開例

- 1 約束を守る大切さについて話し合う。
- 2 資料「よっちゃん あのね」を読んで話し合う。
◎「大事な話をどんなふうに伝えたらよっちゃんは分かってくれるかな。」
 - ①大事な話とは何だろう。
 - ・よっちゃんもちゃんと片付けてほしかったこと。
 - ②四時半を過ぎていたことに気づいた時、
ぼくとよっちゃんはそれぞれどんなことを思ったかな。
(ぼく)・よっちゃん大丈夫?・片付けなきゃ
(よっちゃん)・お母さんに怒られる・片付けよう
 - ③ぼくになったつもりでよっちゃんに大事な話を伝えてみよう。
 - ・時間を守ることも大切だよね。次は一緒に片付けようね。
 - ・お互いに時間に気づけると良かったね。次は気をつけよう。
- 3 約束やきまりを守ったり、みんなが使う物を大切にしておよかった体験を振り返る。

(4) 指導上の留意点及び工夫

◎を大きなテーマ発問に据え、②の発問から両者の気持ちを考えることを通して、どのような伝え方がふさわしいのか考えさせ、児童の他者意識を高めていきたい。

〔本文イラストは酒井桃華による〕